

平成30年3月9日

商品(不要品等含む)ご提供のお願い

お取引先並びに関係者各位

有限会社 むろや
代表取締役 荒井正俊



時下益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

この度弊社「むろや」は添付資料の通り制作されます熊本地震復興の映画『駄菓子屋 小春』の主旨に賛同して下記の事項を行いたいと思っております。

- 1) 映画セット用として商品(食玩、小物玩具)の無償提供をする。
- 2) 映画セットでの商品陳列と値付け作業をする。
- 3) 映画広報並びに秋(9~10月予定)の全国各地での無料上映を支援する。
- 4) 上記上映時期に合わせて2カ月間、撮影に使用したセットを弊社店舗内に移設再現後、一般公開する。
- 5) 提供いただいた物品(食品は消費期限内のもの)は映画セットでの使用后、被災者及び仮設住宅等に支援品として寄付する。
- 6) 映画DVDを通して、被災された駄菓子屋さんを含む小売店等の活性化を図る。
- 7) 映画DVDを通して、大手コンビニチェーン店とは異なる地域に根付いた小売店、子どもたちにとっての「駄菓子屋さん」の存在意義を社会に提唱する。

さて、皆様におかれましては日々大変お忙しく厳しい状況であることは重々承知しておりますが、上記事項に是非ともご賛同いただき、できる範囲でご協力を頂戴できれば幸甚です。尚、ご協力くださいました皆様には、秋頃発売予定の映画『駄菓子屋 小春』のDVD(1巻)を心ばかりのお礼として差し上げる所存です。

ご協力をお願いしたい具体的な内容については以下の通りです。

- 1) 一次問屋様には、メーカー様より見本として戴かれた見本商品(食玩・小物玩具)のご提供。 ※一個一個バラで値札が付いている商品でも可能です。
- 2) 見本としてボール(小箱)から2~3個抜けた半端な商品のご提供。
- 3) 完全に売れ残っている商品のご提供。ボール、ケース単位でも可能です。
- 4) 難しいとは思いますが、食玩メーカーさんからの協力でボール(小箱)単位で詰め合わせて頂けると大変ありがたいです。

…運賃

・運賃については元払いでご送付いただき、後日納品伝票に「無償サンプル商品送料」と明記していただければ後日お支払い致します。

…発送時期

- ・第一次受付締め切り：3月17日(土)
ご発送頂いた商品は3月22日の撮影開始前にセットして現場に納めます。
- ・第一次受付後の3月18日～4月末まで
撮影中に商品を入れ替えたりする際に納めて活用させていただきます。

最近の地方の状況と致しましては、駄菓子屋さんはいずれも高齢化し、「認知症にならんように」と笑いながら頑張っておられます。私ども地方問屋も人口減少等の問題に對峙し、抗いながら商いを続けつつ、地域活性化への道も模索する日々です。

今回の映画製作との関わり及び製作への協力が、何らかの地域活性化のきっかけになるものと信じております。まずは添付資料をご参照くださいませ、今回の企画にご理解ご賛同の上、少しでもご協力くださいますよう心からお願い申し上げます。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

--- 連絡先 ---

有限会社 むろや 代表取締役 荒井正俊
860-0004 熊本市中央区新町 4-2-40
TEL: 096-354-6083
FAX: 096-356-5425
携帯: 090-8839-5970
e-mail: arai@muroya.jp



蒲島郁夫知事(左)に県内での映画撮影について語った俳優の八名信夫さん=20日、県庁

復興映画で応援

県内舞台 八名信夫さん製作

熊本地震からの復興

を映画で支援しよう
と、「悪役商会」で知
られる俳優八名信夫さ
ん(82)が3月末から4
月末にかけて、熊本市や
益城町で自主製作映画
「駄菓子屋小春」を撮
影する。20日に県庁を
訪れ、蒲島郁夫知事に
「熊本の人が頑張っ
ている姿を全国に伝え
たい」と語った。

熊本地震から1年
後、被災した商店街が
舞台。老婦人の営む駄
菓子屋を、地上げの危
機から街の人や子ども
たちが守る。2時間ほ
どの長編で、八名さん
が脚本・監督を担当。
今年10月ごろから全国
の公民館などで無料上
映していきたいとい

主演は女優の柳み
るさんで、八名さんら
も出演。既に県民オー
ディションを済ませて
おり、熊本市の三和
中野球部や鎮西高ダン
ス部の生徒のほか、子
どもたちなど合わせて
約100人が出演す
る。

八名さんは2016
年、東日本大震災など
の被災地支援のため映
画を製作。ロケに協力
した熊本在住の知人が
その後の熊本地震で被
災したが、約半年後に
「熊本の水を飲んで頑
張って」と八名さんに
ペットボトルを送って
くれたという。

八名さんは「心遣い
に感動し、映画で恩返

ししようと決めた。悲
しみを抱えても笑顔で
頑張る熊本の人の強
さ、古里を思う気持ち
を伝えたい」と話して
いる。(國崎千晶)

映画『駄菓子屋小春』について

『はじめに』

一昨年4月、私は富山県の世界遺産“五箇山”で、初めての監督作品『おやじの釜めしと編みかけのセーター』の撮影をしていました。

ようやく桜が開き始めて、合掌造りの家で孫娘の結婚披露宴。歴史ある建物の中で、懐かしい花嫁姿、地元の小学生が踊る“こきりこ節”。そして、披露宴のお客様には、全国から手弁当で駆け付けて下さった友人知人たち。あたたかく、感動的な披露宴のシーンでした。

実は、このお客様役の皆さんの中に、熊本から3人の女性も参加していました。「五箇山は素晴らしい所！それに、あんなに素敵な披露宴に出演出来て、楽しかった！」そう言って、翌日の4月11日、3人は帰って行ったのです。

そして、すぐ地震が！！ 何度も繰り返される地震、その上あの本震。

熊本市内、中心部で働いている筈のその人たちと連絡が取れなくなって！

数ヶ月後、「八名さん、私たちは大丈夫。家も会社も、実家もメチャメチャだけれど、3人で“八名さんの映画に出られて良かったねえ。楽しかったね、と話して励ましあっていますから」とメールが来て、水が届きました。

「八名さん、熊本の水は美味しいよ。これを飲んで、映画を最後まで仕上げてね」と。感動しました！！ 本当は、私の方から送らなければならないのに、被災して大変な想いの人たちから「私たち、八名さんの映画は、楽しかったねえって話し合っ、今を切り抜けているの。だから、映画を完成させてね」と。気遣って下さっている！！ これは、なんとか“お礼”をしなければ、そう心に強く思いました。

映画『駄菓子屋小春』脚本・監督・主演

八名信夫

映画『駄菓子屋小春』 あらすじ

熊本地震から1年後

小さな商店街は 崩れたビルや建物に囲まれて、シャッターをおろして閉じてしまった店も目立つ。

そんな中、子供たちの明るい歌声と笑顔が集まっているのが『駄菓子屋の赤とんぼ』

小春さんが、「ここで子供たちは、友達の大切さ、思いやりの心 家族のこと、ふるさとの歴史文化…沢山のことを知って育って行くんだ。」と、家も全壊、小さな店もガタガタだけれども、子供たちと地域の人たちに支えられて頑張っている。

「婆さん、ここを立退いて、ビルに入ったら楽が出来るよ」

商店街の買い占めに、地上げ屋が乗り込んで来る。

「ここは、子供たちの大切な店なんだ！」

気丈に戦う小春ばあちゃん。地域の人たち。

いつも、ふるさとを想い、人情味と思いやりのある熊本の皆さんが明日に向かって歩いている。その力強さを描いていこうと考えています。

そして「これからの熊本は、子供たちや若い人たちが担って行くのだから」（八名監督）と、小学生 中学生 高校生 大学生の皆さんにも参加していただこうと 三和中学野球部 鎮西高校ダンス部など皆さんの応援もいただくことになりました。関係の皆様にも感謝して、撮影させていただきます。

『八名信夫の映画は、お礼の気持ちです』

「俳優人生60年、80歳をこえても、こうやって全国各地へ講演やロケなど元気で駆け回っていられるのは、応援して下さっている皆さんがいらっしゃるからだ。何かお礼を」八名信夫がそう言って

「俺が出来ることは、映画を創ることだ。映画を創って、全国の皆さんに無料で観ていただく」と、

《今、忘れかけられていること。ふるさと、家族の絆、思いやりの心》をテーマに脚本を書き始めました。

それが、映画『おやじの釜めしと編みかけのセーター』です。

東日本大震災の1年後から、宮城県気仙沼、福島県南相馬市へボランティアに通って、その時出会った少年の言葉「家も家族もなくなりました。でも、僕にはふるさとがあります。ふるさとの役に立つ大人になりたいです」その少年の言葉から「この映画で、被災地の皆さんに、少しでも役にたきたい」と考えて、DVDの売り上げから被災地へ義援金を届けることにしました。一昨年10月から3年目、全国各地で上映会が開かれていて八名は「おやじの釜めしと編みかけのセーター」への想いと、被災地の皆さんのことを話し続け、「熊本の皆さんを応援しましょう」と伝え続けています。NHKラジオ、熊本放送、TBSラジオ、FMよこはま 新聞、雑誌、マスコミの皆さんも応援して下さい、DVDは全国各地から注文をいただいております。

昨年5月、八名は地震後初めて熊本を訪ねました。地震災害の跡を出来るだけ沢山訪ね、被災された方々のお話も伺いました。そして、「DVDの代金だけでなく、俺がここ、熊本で映画を制作する。熊本の皆さんの役にたちたいんだ」と、決心したのです。熊本のスタッフ、俳優さんたち、制作関係の会社、撮影場所、宿泊、食事、車両…などなど出来るだけ熊本の皆さんにお願いして制作しようと。

沢山の皆さんに助けていただきながら、3月26日クランクイン出来ることになりました。これからです。どうぞ皆様のお力添えをお願い致します。

映画『駄菓子屋小春』制作
有限会社HOWARD

代表取締役 竹谷英子

157-0066

東京都世田谷区成城8-24-3-410

03-3482-2336